

ときめき人

Tokimeki bito



人の心に届く歌を 美声響かす エンターテイナー

南方町・新高石

かおるさん

(本名 高橋 かおるさん)
1978年生まれ 血液型/O型

Profile

丸森町出身。夫と子ども3人の5人家族。休日は、シンガーソングライターとして活動する傍ら、ボイストレーナーとしても活躍中。



シンガーソングライターの泉忠伸さんが作詞作曲した「てあらいのうた」を歌うかおるさん。YouTube「とめチャンネル」管理者の浅井洋幸さんが映像制作し発信。

市内のお祭り、イベントなどの司会や歌手として活動するかおるさん。「人の気持ちに届く歌を歌い続けたい」と、数多くのステージに立つ。歌手を目指したきっかけは、小学4年生の時、担任の先生に歌を褒められたこと。20歳で上京し、ビクター音楽カレッジに入学すると、在学中にもかかわらず21歳で異例のCDメジャーデビューを果たした。

音楽活動は楽しかったが、26歳で結婚を機に登米市へ移住。「歌は東京じゃなくても歌えるし、結婚は自分の知らない世界に飛び込むような感じで、わくわくした」と顔をほころばせる。

出産、育児と充実した日々を過ごす中、知人から市内のチャリティーイベントに出演してみないかと声を掛けられた。ステージで歌える一出演に迷い

はなかった。翌年には子育て中のパパママに向けた「子育て応援ソング」のCD制作にも参加。その頃から市内のイベントへの出演依頼が増えていった。

「音楽を通じて世代や性別関係なく、たくさんの人と知り合えたことは、自分にとって大切な宝物。名前を覚えてもらい、私の歌に『感動しました』とか、涙しながら『ありがとう』など、声を掛けてもらうと、もっと頑張ろうという気持ちになる」と音楽活動を再開して5年がたった心境を語る。

「今年は市内の多くのイベントが中止になっていますが、コロナに負けず、登米市のエンターテイナーの力を合わせて、地域を盛り上げていきたい」。新しい生活様式に合わせた、新たなエンターテイメントの幕開けが待ち遠しい。

編集後記

▼毎年のように、各地で豪雨に伴う災害が起きています。令和元年東日本台風は、本市にも大きな被害をもたらしました。今年、既に各地で豪雨災害が起きていますが、対岸の出来事と済ませず、日頃から自分ができる備えをしていきたいと思っています。(佐々木)

▼熱中症予防対策と同時に新型コロナウイルス感染症対策が必要となる今年の夏。マスクはコロナ対策には必要ですが、熱中症のリスクが高まります。屋外で人と十分な距離が確保できない場合には、マスクを外し、こまめに水分補給するなどして、今年の夏を乗り切りたいと思います。(小野寺)

▼ようやくプロ野球開幕。楽天イーグルスは開幕から好調を維持し、優勝へ期待が高まる試合が続いています。観客も球場に入れるようになりましたが、見に行く際は、感染症対策を徹底し、シーズンが中断しないようにみんなで気を付けていきましょう。(三浦)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は市公式ホームページでお知らせしています。)<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>

